

英語IA

必修

開講年次：1年次前期

科目区分：演習

単位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：高校までに習得した英語の基礎的な読解力をさらに発展させることを目標とする。ここでは様々なトピックに関する比較的平易な英文を読みながら、英文読解力、語彙力の向上を目指す。進度によっては、他の題材から選んだ英文を副教材とし英語力の更なるレベルアップをはかる。

■**到達目標**：

- ①比較的平易なレベルの英文を、文の内容、論理展開を的確に把握しながら、一定のスピードで読む力を習得する。
- ②英語の文章を読むための様々なスキルを習得する。

■**担当教員**：

清水 香 佐川 萌東子 赤間 荘太

■**授業計画・内容**：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Unit 1: Crime
- 第3回 Unit 1: Crime
- 第4回 Unit 2: Mobile phones
- 第5回 Unit 2: Mobile phones
- 第6回 Review^{注1)}
- 第7回 Unit 3~7のいずれか^{注2)}
- 第8回 Unit 3~7のいずれか^{注2)}
- 第9回 Unit 3~7のいずれか^{注2)}
- 第10回 Unit 3~7のいずれか^{注2)}
- 第11回 Unit 3~7のいずれか^{注2)}
- 第12回 Unit 3~7のいずれか^{注2)}
- 第13回 Unit 3~7のいずれか^{注2)}
- 第14回 Unit 3~7のいずれか^{注2)}
- 第15回 Unit 3~7のいずれか^{注2)}

注1) 授業の進行状況により、Reviewの回が前後する場合もある。

注2) Unit 3~7のどのUnitを取り上げるかは、クラスの状況により担当教員が判断する。

■**教科書**：Provoke a Response! 南雲堂 その他資料等は適宜授業で配布する。

■**参考文献**：担当教員より授業初回において指示する。

■**成績評価基準と方法**：出席状況、課題提出、試験の結果などから総合的に評価する。出席：10%（出席点5%と8月に実施されるTOEIC IPテストの受験5%が合算される）平常点（課題、小テスト、クイズ等）40% 定期試験：50%

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
定期試験	◎	○	語彙力、読み取りの的確さおよび読解のスピードを総合的に判断する。	50%
小テスト・課題・中間試験等	◎	○	語彙力、読み取りの的確さおよび読解のスピードを総合的に判断する。	40%
出席			2/3以上の出席と8月に実施されるTOEIC IPテストの受験(授業の出席が2/3に満たない場合、定期試験の受験資格を失い、単位を修得することができません)	10%
その他			遅刻3回で欠席1回とみなす	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：英語に関する全ての科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業には予習をして、辞書持参で出席すること。辞書に関しては英和中辞典以上の内容のものを使用すること（電子辞書も可、ただし携帯電話、スマートフォン、タブレット端末の辞書機能は不可）。実用英語力の向上、資格取得及び前期終了時点での総合的な英語力の診断のために、8月に全学生にTOEIC IPテストを実施する予定である。それに備えて積極的に自ら勉強に取り組むこと（TOEIC実施に関する説明は授業等で行なう）。その他に関しては担当教員より指示する。